

外国人の就職支援

キャリアフェア・盛岡 県内17社、業務内容説明

外国人の県内就職を支援する「グローバルキャリアフェア in 岩手」(県、いわてグローバル人材育成推進協議会など主催)は3日、盛岡市内で開かれ、県内外の外国人留学生や求職者が県内企業から業務内容などの説明を受けたほか、参加した企業はグローバル人材確保に向けPRした。

日本の文化や社会に理解を有する外国人の就職を支援するとともに、グローバルな人材を必要とする県内企業とのマッチングを図る目的で、昨年度から県などが開催しており今回で2回目。

国内在住で、中国や米国など15カ国から49人が参加。県内からは製造業、建設業、情報通信業、

運輸業、サービス業、農業、人材紹介業の7業種から計17社が参加した。近年はインバウンド(訪日外国人旅行者)の増加により、ホテルなどのサービス業でグローバルな人材の需要が高まっているという。

参加者は各企業のブースを巡り会社概要や業務内容の説明を聞き、会社の立地する市町村などについて質問していた。

北海道で外国語指導助手(ALT)を務めているダントン・フィオナさん(26)は「ニュージールランド出身」は「新しい仕事をしてみたい」と思い参加した。緊張しうまく話せなかったが、良い経験になった」と語り、企業の説明を真剣に聞いていた。

企業側で参加した花巻市の志戸平温泉の及川基紀総務経理部長は「最近右肩上がりで外国人客が増えており、特に台湾からの観光客が増加している。外国人のお客さまにも花巻のおもてなしを堪能してもらうため、通訳ができる人材を探したい」と話していた。



グローバルキャリアフェアで企業の説明を聞く外国人参加者